

運賃交渉に役立つ新サービス

賃金アップや労働時間の改善を急ぐ業界にあって、適正運賃の收受は必要不可欠だが、実態はなかなか価格転嫁が進んでいないのが実情だ。こうした中、運送業専門の行政書士の全国集団として活動するトラサポ（鈴木隆広代表）は、運賃交渉に役立つ資料を作成し提供するという新サービスを開始した。

同サービスは、燃料代、人件費、そして車両代（トラック新車価格）の過去10年間のデータから、どれくらいコストがアップしているのかが算出し、どのくらい運賃を転嫁しなければいけないかを簡単に把握できるサービス。

都道府県ごとのデータから抽出する

「ば、5日以内に資料が手元に届く。」

鈴木代表は、「運賃交渉には、相手を納得させる資料が必要」とし、「経費がどれだけ上昇したかを示すレポートを活用していただき、運賃交渉に役立てていただきたい」と話している。

（高田直樹）

来年4月からお目見えか

特定技能の外国人ドライバー

自民党合同会議は18日、特定技能に自動車運送業等4分野の追加を了承、3月中にも閣議決定される見込み。これによりトラックドライバーにも外国人が仲間入りする。ただし働き手に対する「技能試験」の実施は今

年後になる模様で、その後合格者は受入

大抵免許にチェレンジしていくことになる。入社後はドライバー研修もあり、単独業務は早くても来年4月以降に。

条件は緑ナンバーでGマークまたは働きやすい職場認定企業

全ト協は「受入案件は緑ナンバーでG

ベトナムから若きドライバー人材得る

アプライズ スキームを構築

東京証券取引所に外国人人材サービス事業者として今年2月、第一号で株式上場したアプライズ（東京都品川区）は、物流業界のドライバー人材不足を解消する一案として、ベトナムの物流大学に通う学生に指定の自動車教習所で日本式の運転技術も含めた教習により、自動車免許の取得すること

ベトナムの大学に

習、今後発表される特定技能試験対策をベトナムで教えるという。岩堀社長は「ベトナムと日本ではハンドルの位置では左右異なるが、日本の交通法規も含めて教育しておけば、日本での運転免許切り替え試験や、準中型・中型等にステップアップする運転免許試験での合格率も格段にアップする。ベトナムにいる内から準備して渡航できる」と話す。また「学生は日本企業にインターンシップで行き、1年間働きの

提議、同校長と合意に至り、アプライズの岩堀克英社長は3月20日、「ベトナムで唯一大学所属の教習所を運営しているUTT（交通技術大学）と業務提携した」と発表した。

教育対象は、ベトナムの大学生および短期大学生、現役物流ドライバー、高校卒業生で、「日本の交通ルール、日本免許教育、ベトナムで



ベトナムの校長と岩堀社長（向かって左）

化粧
NXG
X台湾国
本勝董事
湾北部の
るNEX
おいて、

アプライズ 日本初 外国人材仲介業で東証上場

海外からの人材派遣・紹介・特定技能登録支援機関のアプライズ（岩堀克英社長、東京都品川区）が2月20日、東京プロマーケットに上場した。外国人の材サービスマスターとしての上場は同社が初めてで、現在、国内唯一となっている。アプライズの設立は2014年6月、資本金は4000万円。現在は主にベトナムからの留学生や技能実習生と、日本企業との橋渡し役を行っているっており、2022

3年6月時点での派遣スタッフは約600人。「ベトナムからの留学生や技能実習生が2012年から大幅に増加した。プロカーによる搾取のケースが多く、求職者からお金を取る企業が大半だった。その状況を嘆いた当時の駐日ベトナム大使からお金を取らずに就職できる機会を与えてほしいとの依頼を受け、ボランティア活動としてスタートした。現在は、「この業界でもきちんとして

ルール作りをして、お互いに将来性のある関係でいられるよう、信用ある企業として各業界・各企業・求職者たちの役に立っていきたい」と話す岩堀社長。2023年12月期の業績は、売上高6億2148万円、営業利益1759万円、経常利益2349万円、当期純利益は2808万円。2024年12月期の見通しは、売上高7億4578万円（前期比120%）、営業利益3294万円（同187%）、経常利益3510万円（同149%）、当期純利益

は2226万円（同79%）。2024年問題も含め、厳しい人材不足への対応として、トラック運送業界でも外国人の労働力を求める動きが活発化しており、特定技能実習生や技能実習生の在り方等の見直しが進められている。方向性等は徐々に固まりつつあるが、特にトラックドライバーに関しては、運転免許の問題も絡むことから、同制度や情報に詳しい岩堀社長は「諸々の決定事項が正式に発表されるのは今年秋口以降になるだろう」と話す。アプライズではこれに先駆け、ベトナムの大学で物流学と日本語を学んだ上で来日し、日本の物流を学びたいとする留学生たちに、ベトナム国内で日本式の運転を教えながら免許取得を進めるプログラムを企画、一部の国内物流企業に提案を開始している。

（小澤 裕）
（レイアウト・文野初音）



岩堀社長
「諸々の決定事項が正式に発表されるのは今年秋口以降になるだろう」と話す。アプライズではこれに先駆け、ベトナムの大学で物流学と日本語を学んだ上で来日し、日本の物流を学びたいとする留学生たちに、ベトナム国内で日本式の運転を教えながら免許取得を進めるプログラムを企画、一部の国内物流企業に提案を開始している。

物流
クイックリー
2024
3
7

物流専門の学部を有するベトナムの国立トゥイロイ大学は、日本企業とも友好関係にあり、物流を専門に学ぶ大学生を日本企業に留学生として数多く送り出している。この5月には、ベトナム政府や物流大学等と協力し、学生と企業の仲介を行っているアプライズ（東京都品川区）の岩堀克英社長らの協力を得て、国立

ベトナムの物流大学幹部が 日本企業を視察

トゥイロイ大学から NGUYEN HUU LAIZ（アプライズ）の岩堀克英社長とする同大学の講師など計6人が日本企



（前列左から）南日本運輸倉庫の田口充司常務、トゥイロイ大学の会長、アプライズの岩堀社長

業にあいさつおよび視察として来日。同視察団は5月24日～28日の4泊5日

の会社や、土木、建設会社など5社を視察して回った。来日2日目の25日には食品輸送を行う南日本運輸倉庫（大園圭一郎社長、同中野区）の戸田本部（埼玉県戸田市）および同社の埼玉物流センター（さいたま市岩槻区）を訪問。田口常務などから同社のベトナム入

物流 weekly

2023. 7. 6